

平成 19, 20 年度 第 1 回 複合構造委員会 議事録案

1. 日 時：平成 19 年 7 月 5 日(木) 14:00 ~ 17:00
2. 場 所：土木学会 講堂
3. 出席者：園田顧問，中島委員長，横田副委員長，渡辺幹事長，伊藤委員，上田委員，奥井委員，小林(朗)委員，佐々木委員，下村委員，鈴木委員，滝本委員，田中委員，津吉委員(代理)，中村(俊)委員，中村(光)委員，西垣委員(代理)，野村委員，日野委員，藤井委員，三ツ木委員，山田委員，吉田委員，渡辺委員，池田幹事，大垣幹事，葛西幹事，武知幹事，西崎幹事，古市幹事，溝江幹事，山口幹事，川島事務局員
(計 33 名)
4. 配布資料：

資料	1-1-1	平成 19, 20 年度委員会名簿
資料	1-1-2	平成 19, 20 年度幹事会名簿
資料	1-1-3	複合構造委員会組織図
資料	1-2	平成 17, 18 年度第 4 回複合構造委員会議事録(案)
資料	1-3-1	第 13 回複合構造委員会幹事会議事録
資料	1-3-2	第 14 回複合構造委員会幹事会議事録
資料	1-3-3	第 1 回複合構造委員会幹事会議事録(案)
資料	1-4-1	平成 19 年度委員会予算案
資料	1-4-2	委員会活動度評価の活用方法および行事還元方法の変更について
資料	1-5-1	2006 年度委員会自己評価
資料	1-5-2	平成 18 年度重点研究課題報告書(概要版)
資料	1-6-1	複合構造シンポジウム
資料	1-6-2	国際ジョイントセミナー
資料	1-7-1	研究討論会
資料	1-7-2	平成 19 年度全国大会共通セッションプログラム関係
資料	1-8	出版に関する当面の運用
資料	1-9-1	複合構造物の性能照査指針小委員会活動報告
資料	1-9-2	複合構造の現状調査小委員会活動報告
資料	1-9-3	維持管理小委員会活動報告
資料	1-9-4	新技術による複合技術小委員会活動報告
資料	1-9-5	FRP 複合橋梁小委員会活動報告
資料	1-9-6	FRP による鋼および複合構造の補修・補強小委員会活動報告

JSCE-KSCE-CICHE/TCI Joint Seminar on Recent Progress of Hybrid Structures (First Announcement)

5. 議事内容：

(1) 委員長挨拶

中島委員長より，委員会開催に先立ち挨拶がなされ，第 2 期複合構造委員会の活動方針につい

て説明がなされた。

(2) 委員自己紹介

各委員および幹事より自己紹介がなされた。また、委員会名簿（資料 1-1-1）について記載内容の確認がなされた。

(3) 複合構造委員会（平成 19, 20 年度）委員会・幹事会体制について

中島委員長より、資料 1-1-2, 1-1-3 に基づき、平成 19, 20 年度の委員会・幹事会体制について説明がなされた。

(4) 第 4 回複合構造委員会（平成 17, 18 年度）議事録確認

大垣幹事より、前回議事録案（資料 1-2）が読み上げられ、承認された。

(5) 幹事会報告

渡辺幹事長より、資料 1-3-1 ~ 1-3-3 に基づき、幹事会の活動状況について報告がなされた。

(6) 平成 19 年度委員会予算(案)および委員会活動度評価の活用について

渡辺幹事長より、資料 1-4-1 に基づき、平成 19 年度の委員会予算案について説明がなされた。昨年度の活動度評価が A ランクであったことから、予算が増額されたとの説明があった。

川島事務局員より、資料 1-4-2 に基づき、平成 19 年度より適用される委員会活動度評価の活用方法および行事還元方法の変更について説明がなされた。委員会予算は総合評価ランクと評価項目 I によって決定される。また行事で出た収益は次年度の予算に上乗せできるとの説明があった。

(7) 委員会報告事項

大垣幹事より、資料 1-5-1 に基づき、調査研究部門の目標 / 計画（アクションプラン）と実施状況・今後の課題のうち、複合構造委員会関連部分について報告がなされた。中間評価が B であった建築学会との技術交流について、シンポジウムの共催が実現される運びとなったことから、最終評価を A としたとの説明があった。

上田委員より、資料 1-5-2 に基づき、平成 18 年度重点研究課題の調査研究報告書について説明がなされた。次回のジョイントセミナーを第 7 回複合構造シンポジウムに合わせて開催することになったとの説明があった。

(8) 複合構造シンポジウムについて

古市幹事より、資料 1-6-1 に基づき、第 7 回複合構造シンポジウムについて説明がなされ、シンポジウムならびに現場見学会、パネル展示への参加が要請された。63 件の投稿があり、うち建築分野が 20 件強であるとの報告があった。また、会告案について誤字が指摘され、修正することとなった。さらに、会告案にある“論文”集 CD という用語について、土木学会の新たな規定に合致していない（査読付きではない）のではとの意見が出されたが、投稿者へは“論文”とはならない旨を連絡済みであるとのことであった。

横田副委員長より、資料 1-6-2 に基づき、国際ジョイントセミナーについて説明がなされた。第 7 回複合構造シンポジウムに合わせて開催し、韓国、台湾にそれぞれ 2 名程度ずつ講演していただくように要請し、現在各国で人選が進められていること、および日本からも同様に 2 名の講演を予定していることが報告された。

(9) 平成 19 年度年次学術講演会について

西崎幹事より、資料 1-7-1 に基づき、研究討論会について説明がなされ、討論会への参加が要請された。発注者・管理者の立場から話題提供していただく方については現在調整中であるとの報告があった。

大垣幹事より、資料 1-7-2 に基づき、共通セッション・複合構造について説明がなされ、講演会への参加が要請された。山田委員から提案があり、次年度より、共通セッション・革新的構造材料への投稿は、共通セッション・複合構造へ集約されることとなった。

(10) 出版関係について

武知幹事より、資料 1-8 に基づき、今期の出版に関する取り扱いについて説明がなされた。区分 1 の(仮)複合構造物標準示方書と、コンクリート標準示方書、鋼・合成構造標準示方書との整合性について議論がなされ、コンクリート委員会、鋼構造委員会との連携の重要性が再確認された。また、(仮)複合構造物標準示方書の出版に際しては外部への意見照会が必要ではとの意見があり、幹事会で検討することとなった。さらに、区分 2 の複合構造シリーズについて、指針の作成を目的とする場合には、委員会を別途設立し、厳選された委員によって作成されるのが良いとの意見が出された。出版区分とその出版物を作成・検討する小委員会の性格との関連は、幹事会において検討することとなった。

(11) 小委員会報告審議事項

小委員会活動について報告がなされた。

複合構造物の性能照査指針小委員会

中村小委員会委員長より、資料 1-9-1 に基づき、活動状況が報告された。平成 20 年 9 月の刊行を目標に標準示方書の作成を進めており、次回委員会までには委員会へ付議する予定であるとの説明があった。

複合構造の現状調査小委員会

伊藤小委員会委員長より、資料 1-9-2 に基づき、活動状況が報告された。平成 19 年 9 月末までに現状調査報告書を、平成 20 年 2 月末までに 9A/9B の改訂版を作成する予定であるとの説明があった。また、9A/9B の大幅な改訂に伴い、活動期間を延長することになったとの報告があった。

維持管理小委員会

溝江小委員会幹事より、資料 1-9-3 に基づき、活動状況が報告された。現状調査小委員会を実施したアンケート調査を基に、維持管理に関する実態調査アンケートを実施する予定であるとの説明があった。

新技術による複合技術小委員会

上田小委員会委員長より、資料 1-9-4 に基づき、活動状況が報告された。7 月 25 日に開催される講習会について説明がなされ、講習会への参加が要請された。また、今後の活動計画として、土木分野で発展し得る新たな複合技術（例えば地盤材料を用いた複合技術）を模索していく予定であるとの説明があった。

また、発刊される複合構造シリーズ「複合構造技術の最先端」について、出版時期の都合で、委員会による意見照会は平成 17, 18 年度の委員で行っているとの報告があった。

FRP複合橋梁小委員会

山田小委員会委員長より、資料 1-9-5 に基づき、活動状況が報告された。設計法 WG と技術検討 WG を設置して活動を展開中であるとの説明があった。

FRPによる鋼および複合構造の補修・補強小委員会

鈴木小委員会委員長より、資料 1-9-6 に基づき、活動状況が報告された。3 つのグループを構成して、事例収集、文献調査を進めているとの説明があった。

(12) その他

- ・中島委員長より、ホームページに掲載される委員名簿は、第 1 回委員会終了後に更新されるとの連絡があった。
- ・次回委員会

日 時：1 月 17 日（木）14:00～

場 所：土木学会

以 上
（記録：溝江）